

平成 30 年 6 月

# 学校関係者評価報告書

学校法人 名古屋大原学園  
大原法律公務員専門学校岐阜校  
学校関係者評価委員会

平成 30 年 3 月に実施しました、自己点検・自己評価の結果をもとに、学校関係者評価の実施を行いました。「1. 教育理念・目標」以下 10 項目にわたり、学内で評価された問題点とその改善のための方策並びに両者に関する関係者からの評価と助言を掲載します。

## 1. 教育理念・目標

### 【課題】

自己点検・自己評価結果では、「やや不適切」、「不適切」という項目はなく、全体的な評価数値も昨年度より高くなっている。

### 【今後の改善方策】

社会経済のニーズ等を踏まえた将来構想については、今後も学校及び学生を取り巻く環境を敏感に察知し、ニーズの変化を的確に把握していくことが必要となる。昨今、公務員の不祥事に関するニュースが多く報道されている。「職業倫理観」、「公平観」をもった公務員の輩出に留意するとともに、時代に対応したカリキュラムを工夫する。そのために、業界のニーズの把握に向けて、当校と関係のある団体からの聞き取り調査を継続し、多種多様な公務員の輩出に力を注ぐ。

### 【関係者評価】

教育理念・目標については、開校後 6 年を経過し、自己点検・自己評価結果が徐々に改善され、全体として概ね適切であると評価する。時代対応の教育目的が、学園学校運営計画書においても明確に定義されている。この姿勢をこれまで通り維持してほしい。また、人間としての信頼性、対応の丁寧さなど「人」として魅力ある器づくりを目指して、多様な年代の人々とのかかわりが感じられる地元の祭りやイベントへの自発的参加、学外のボランティアへの参加を引き続き推し進めてほしい。

## 2. 学校運営

### 【課題】

自己点検・自己評価結果では、「やや不適切」、「不適切」という項目はない。

### 【今後の改善方策】

運営組織や意思決定機関については、現在の制度の継続によりその定着を図り、引き続き有効性を図っていく。業界や地域社会に対するコンプライアンス体制の整備について引き続き向上を図るとともに個人情報管理に注意を払う。

### 【関係者評価】

ホームページを確認しているが、特に問題はないと考える。ただ単に公務員試験に合格させるだけではなく、法令を遵守し高い倫理観を保持する公務員を理想の公務員像とし、その輩出を目指してほしい。

## 3. 教育活動

### 【課題】

自己点検・自己評価結果では、昨年度の自己点検と比べて改善が図られている。「やや不適切」の評価意見がある項目は以下の通りである。

- ⑥関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）の体系的な位置づけ
- ⑦授業評価の実施・評価体制
- ⑬関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研究や教員の資質向上の取り組みについてである。

### 【今後の改善方策】

インターンシップについては、カリキュラムに反映するとともに、長期休暇などを利用しての取り組みを学生に奨励をしている。受動的な取り組み状況となっている。「専門学校生の受け入れ先の開拓」をさらに拡大し、民間企業への受入先も視野に入れて検討する。

評価体制と先端知識習得のための研修及び教職員の資質向上のための取り組みについては、制度として発展させるとともに、直接の担当分野だけでなく、幅広く実施していくことにより専門分野の知識の向上にもつなげていく。なお、平成29年度より学園全体として、教職員の能力開発のための組織を本格稼働し、教職員の能力アップを図る取り組みを進めている。

### 【関係者評価】

卒業生の7割以上が公的機関に就職する点で、学校としての教育活動の成果が出ていると評価する。引き続き、実践的な職業教育と教職員の知識・技能の向上に尽力してほしい。そのための継続的な研修等をお願いしたい。

## 4. 学修成果

### 【課題】

自己点検・自己評価結果では、昨年度の自己点検と比べて改善が図られているが、以下の項目で「やや不適切」「不適切」の評価意見がある。

- ④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
  - ⑤卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用しているか
- についてである。

### 【今後の改善方策】

昨年の学校関係者評価委員会を受け、就職後のミスマッチを避ける取り組みとして、「公務員として働

く入省後2年目の卒業生」に来校いただき、若い先輩の職業意識を直接学生に伝えてもらう機会を新たに設けた。卒業生のネットワークをさらに活用することが重要になってきている。今後もこのような機会を増やしていく。平成29年度はカリキュラム等の見直しにより合格率が向上したが、更なる合格率の改善を図っていく。

#### 【関係者評価】

学生のうちに目指す仕事についているOBからの話が聞けることは重要。また、積極的に官庁説明会や自衛隊見学に参加し、現場をできるだけ正確にイメージできるようにしておくことが重要だと考える。その点でしっかりとカリキュラムに組み込んで取り組まれているので評価できる。

### 5. 学生支援

#### 【課題】

自己点検・自己評価結果では、昨年度の自己点検と比べて改善が図られているが、以下の項目で「やや不適切」「不適切」の評価意見がある。

⑧卒業生についての支援体制

⑩高校・高等専修学校等との連携によるキャリア・職業教育の取り組みについてである。

#### 【今後の改善方策】

卒業生への支援については、現行の支援制度を充実させることから検討する。現在は、卒業生に対し再受験支援を中心に行っているが、更にフォローを継続する。あわせて卒業生に関する情報を収集し、再就職支援についても検討する。学年を超えたネットワークは濃いものではないので見直しを検討する。

高校との連携については、公務員試験に関する情報提供や学習指導、面接対策などを含めた就職指導について、積極的に貢献していく。

#### 【関係者評価】

同窓会のような卒業生のネットワークは、学校の発展に間接的に貢献する。ネットワークを検討することは評価できる内容である。

### 6. 教育環境

#### 【課題】

自己点検・自己評価結果ではおおむね適切であるが、次の項目で「やや不適切」の評価意見がある。

②学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等についての十分な教育体制整備についてである。

#### 【今後の改善方策】

学園として海外研修を積極的に支援している。昨今の不安定な国際情勢もあって実際の利用者は少ない状況となっている。これを鑑み、昨年度は、岐阜校内で外国人との交流の機会を設け、iPadのアプリ

をつかった会話で国際感覚を養った。今後も新しいツールをつかった交流会を検討する。また、インターンシップについては、公的機関によるものも最近は増加しているが、受け入れ定員数が少ないことなどにより、タイミングよく参加できていないのが現状である。民間企業でのインターンシップも検討する。防災については、学生全員に配付する学生便覧に緊急時の対応の記述がある。この内容を周知徹底するとともに、定期的に防災訓練を実施することにより、防災意識を高め、有事の際には被害を最小にとどめるための方策とする。

#### 【関係者評価】

グローバル社会を前に、警察官や公務員であっても、外国の方と接する機会が今後増加することが予想されるので海外行動力検定の実施や学校の取り組みは評価できる。学生手帳の中にある英語・中国語・韓国語による簡単な会話文への取り組みも重要であり是非進めていただきたい。

### 7. 学生の受入れ募集

#### 【課題】

自己点検・自己評価結果では、「適切」「ほぼ適切」のみとなっており、引き続き、貢献できるようにさらなる工夫を実施する。

#### 【今後の改善方策】

公的機関の人材採用においても人手不足が影響しているという。地域や社会に貢献する公の志のある学生が集う学校として、しっかりした教育環境を整えていく。

学納金については、毎年見直しの必要性の有無を検討し、学生や学校を取り巻く社会情勢の変化に応じて、適正な金額の設定に配慮する。学生、保護者にとって負担が軽減するよう配慮していく。

#### 【関係者評価】

学生の受入れ募集については概ね適切であり、学生に対する経済的支援制度は非常に評価できる。今後も入学希望者への効果的な募集活動を期待している。

### 8. 財務

#### 【課題】

自己点検・自己評価結果では、「適切」「ほぼ適切」のみとなっている。

中長期的に学校の財務基盤は安定しているかについては、現在の財務状況からは安定しているといえる。ただし、学校を取り巻く環境変化への対応が今後も大切となる。

予算については、所属グループ、所属部署に関する予算が毎年明示されているので、評価については問題がないと思われる。

#### 【今後の改善方策】

修業年限を2年とする学校であるため、短期的な戦略に重点を置かざるを得ないが、中長期的なビジョンを持って収支計画を立てていく。

財務基盤の安定を補完するものとして、社会人講座（附帯事業）の運営があり、教育成果を出すことにより、好不況などに左右されない堅実な運営を心掛ける。

財務情報についての公開も毎年度一定の時期に行っており、継続して実施する。

#### 【関係者評価】

財務についてはほぼ適切であり、今後も安定した入学者数確保への募集強化をお願いする。

### 9. 法令等の遵守

#### 【課題】

自己点検・自己評価結果では、「適切」「ほぼ適切」のみとなっている。

#### 【今後の改善方策】

法令、基準の遵守は現在のところ問題はない。ただし、個人情報の保護に関しては、年々その重要性が増しているため、今後も重点的にその対策を講じていくことが重要となる。また、昨年度の学校関係者評価委員会でも提言があった「学生のSNS等の利用による問題」に関する対策にも、引き続き取り組んでいく。

自己評価については、現在のシステムを継続するとともに、業務改善資料としての活用も検討していく。

#### 【関係者評価】

法令等の遵守については適切である。個人情報の取り扱いに引き続き、誠実な取り組みをお願いしたい。

### 10. 社会貢献・地域貢献

#### 【課題】

自己点検・自己評価結果では、昨年度の自己点検と比べて改善が図られている。

地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているかについては、社会人講座（附帯事業）を開講し、岐阜市を中心に広く募集を行っている。

#### 【今後の改善方策】

高校からの依頼による高校生等を対象とした講習等を受託し、各種検定試験会場、大学受験会場として施設の貸し出しを継続して行う。また、災害時における校舎利用が考えられるため、防災計画と合わせて配慮していく。

公共職業訓練等の受託は、現在の状況では実施することは厳しい状況であるが、パソコンや担当教員の確保などハード面での問題に取り組み、学園の中長期的な安定性を確保するためにも、受託に向けての整備が図ることが大切となる。

#### 【関係者評価】

地域社会への貢献として、地域イベントへの協賛金の提供や、在校生による学校近隣や最寄り駅周辺でのゴミ拾いは評価できる取り組みである。行政も若い世代の意見を取り入れた政策を実施しているようにしているため、岐阜県の政策にモニターとして若者が参加する機会があるとよい。

#### 学校関係者評価委員会

| 役職  | 氏名    | 現職                    |
|-----|-------|-----------------------|
| 委員長 | 鈴木 慎吾 | 元 岐阜城北高等学校 教頭         |
| 委員  | 浅野 直也 | 株式会社 ダックアサノ 代表取締役     |
| 委員  | 柳原 元気 | げんき社会保険労務士事務所 社会保険労務士 |

以上